

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【公表番号】特表 2014-504327 (P2014-504327A)  
 【公表日】平成 26 年 2 月 20 日 (2014.2.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-009  
 【出願番号】特願 2013-545227 (P2013-545227)  
 【国際特許分類】

C 0 8 F 4/654 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 4/654

C 0 8 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成 26 年 12 月 9 日 (2014.12.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

塩化マグネシウムとエタノールを含む固体付加物であって、1 モルの塩化マグネシウム当たりのエタノールのモル数が 2 ~ 5 の範囲であり、水銀空隙測定法で求めた前記付加物の  $1 \mu\text{m}$  以下の孔による平均空孔半径 ( ) と、1 モルの塩化マグネシウム当たりのエタノールのモル数の比率が 5 0 0 より大きい固体付加物。

【請求項 2】

エタノールのモル数が 2 . 2 ~ 4 . 5 の範囲であり、これに対応して上記の付加物の平均空孔半径とエタノールのモル数の比率が 6 0 0 より大きい請求項 1 に記載の固体付加物。

【請求項 3】

水銀気孔率が 0 . 0 5 ~ 0 . 2  $\text{cm}^3 / \text{g}$  であり、空孔の平均空孔半径が 0 . 1 8 ~ 0 . 3 5  $\mu\text{m}$  である請求項 1 又は 2 のいずれか一項に記載の固体付加物。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の固体付加物を部分的に脱アルコール化することによって得られ、及び 1 モルの  $\text{MgCl}_2$  に対して 0 . 1 ~ 3 モルのエタノールを含むことを特徴とする固体付加物。

【請求項 5】

H g 法によって測定して、0 . 2 ~ 1 . 5  $\text{cm}^3 / \text{g}$  の気孔率を有し、及び平均空孔半径が 0 . 1 4 ~ 0 . 3  $\mu\text{m}$  の孔を有することを特徴とする請求項 4 に記載の固体付加物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の固体付加物を一種以上の遷移金属化合物と反応させて得られるオレフィンの重合用の固体触媒成分。